

(2) 坂家住宅奥座敷（銀松軒）、土蔵、離れ、北塀について

所在地：東海市横須賀町四ノ割38-1他

所有者：個人

名 称	形 式	建 設 年 代	登 録 基 準
坂家住宅 奥座敷 (銀松軒)	木造平屋建、 瓦葺	明治前期	造形の規範となっているもの
坂家住宅 土蔵	土蔵造二階建、 瓦葺	江戸末期／明治前期移築	国土の歴史的景観に寄与しているもの
坂家住宅 離れ	木造平屋建、 瓦葺	明治前期	国土の歴史的景観に寄与しているもの
坂家住宅 北塀	木造、瓦葺	明治前期	国土の歴史的景観に寄与しているもの

【概要】

奥座敷は木造平屋建、切妻造¹ 棧瓦葺²で東西に二室並べ、各室北面に床構えを配す。
皮付の棹縁や竹の落とし掛、網代天井など数寄屋³風意匠を随所に凝らす。

土蔵は土蔵造⁴二階建、切妻造棧瓦葺の家財蔵である。

離れは六畳と十畳の二間からなり、十畳間には絞り丸太の柱を立て織部床⁵である。

北塀は簷子⁶下見板張とし、土蔵や離れと共通する意匠が商家の屋敷構えを整える。

切妻造¹：本をなかばひらいて伏せた形の屋根

棧瓦葺²：横断面が波型（S字型）の平瓦で葺いたもの

数寄屋³：江戸時代に流行した日本の建築様式の一つ

土蔵造⁴：外壁に漆喰などを塗って仕上げた蔵に多い建築様式

織部床⁵：廻り縁の下に化粧板を取り付けた床の間の様式の一つ

簷子⁶：建築において使用される木材の一種



坂家住宅奥座敷（銀松軒）（東海市教育委員会提供）



坂家住宅土蔵（東海市教育委員会提供）



坂家住宅離れ（東海市教育委員会提供）



坂家住宅北塀（東海市教育委員会提供）